

第6回豊前市立学校再編成準備協議会 通学部会 会議録(要点)

日 時	令和7年3月18日(火) 18:30 ~ 19:10
場 所	豊前市役所3階 大会議室
出席者	委 員 18名(欠席11名) 事務局 5名 交通政策室 2名
	2. 協議事項 (1) 小学校の主要通学路について ▶ 主な質疑、意見 ・ なし。 ▶ 承認事項 ・ 豊前北小学校、豊前中央小学校共に事務局案にて承認。
	(2) 小学校の通学方法(スクールバスの対象)について ▶ 主な質疑、意見 ・ 添乗員について、安全面を考慮すると必要だとは思いますが、高学年の児童も乗車するのでスクールバス利用のルールブックを作成しておけば添乗員の配備までは必要ないのではと思う。保護者や児童に十分に注意喚起をし、違反者への対応をしっかりと考えておけば良いと思う。 ・ スクールバスが26台必要とのところだが、運転手の採用についてどのような運用を考えているか？ → 市内の交通事業者への委託を優先に考えているが、運転手の数が足りず全てを運行することはできないとの回答をもらっている。また、現在4路線のスクールバスを運行しているノウハウがあるので、自主運行も視野に入れている。26台運行するためには、その1.3倍の33名程度の運転手を確保しないといけないため、大変厳しい状況である。今後、市内事業者、自主運行のみならず、市外の事業者への委託も視野に検討を進めていく予定である。 運転手の採用については、朝夕で就労時間が4～5時間程度となるため、スクールバスの時間帯のみでの採用は非常に困難であると交通事業者からも言われている。ルートや台数が正式に決まった後に一番良い形を検討する。 ・ スクールバス利用時のアプリについて、検討中とのことであったがどのようなアプリを検討しているか？運転手が運転に集中できるよう、最低限乗降の管理ができるようなものが良いと思う。 → 有名なものにCoDMONというアプリがある。急な休み等の連絡がアプリを通して学校や運転手に通知がいく機能や、オプションとしてバスがどこを走っているかの確認ができる機能、アンケート調査の機能等がある。全ての機能を導入はできないが、必要な機能を検討し、皆様に提案、協議ができればと考えている。 ・ 中央小の令和10年度の見込み人数では、児童の70%がバス通学になるようであるが、児童がバスで安全に帰宅できるように学校だけで対応するのは、たとえアプリを導入したとしても難しいと思う。添乗員など今後十分に協議してもらいたい。

事務局より) 通学方法の検討にあたっては、安全面や児童の負担等への配慮が必要であると考えている。それに合わせて、バス通学の対象者、バスの購入台数、運転手の確保、駐車場の確保等もしっかりと勘案しながら検討を進める必要がある。対象の距離を 1.5km で決定したわけではなく、まずは 1.5km から検討を進めていくということである。

▶ 承認事項

- ・事務局案にて承認。

(3) 中学校のスクールバス停留所までの安全対策について

▶ 主な質疑、意見

- ・なし。

▶ 承認事項

- ・事務局案にて承認。